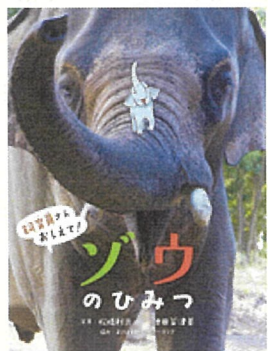


どうぶつ『飼育員さんおしえて！ ゾウのひみつ』

いけだ な つ み ぶん まつはしとしみつ ぶん どうぶつえん どうぶつえん きょうりよく しんにほんしゅっぱんしゃ
池田菜津美/文 松橋利光/文 よこはま動物園ズーラシア/協力 新日本出版社



ゾウはかせになろう！

ゾウにはたくさんのひみつがあることを知っていますか？そのひみつを動物園の飼育員さんが教えてくれます。飼育員さんだからこそ知っているひみつもありますよ。

例えば、「ゾウの鼻は何でできているのか？」や、「歯はどんな形なのか？」、「足のつめ切りはどうするのか？」、「なんで水あそびが好きなの？」など、気になるひみつを知ることができます。

他にも、飼育員さんのお仕事や、ゾウのお部屋、ゾウの乗りかたまで紹介されています。かわいいゾウの写真もたっぷり、楽しく読める本です。

同じシリーズに、キリン、パンダ、ライオンのひみつが知れる本もありますよ。

えほん『キリンのなやみごと』

ジョリ・ジョン/作 レイン・スミス/絵 岡野佳/訳 かがくどうじんしゃ
化学同人社

なが〜い首がなやみです

なが〜い首の動物と言えは？…そう、キリンですね。でも、キリンのエドワードは、その首がきれいなのだそうです。首が長すぎ、細すぎ、曲がりすぎ、くねくねしすぎ、目立ちすぎだと、なやんでいました。

なので、エドワードは、首にスカーフをたくさんまいてみたり、木の後ろにかくれてみたり、水の中に入ってみたりと、首をかくそうとします。

そんなある日、カメのサイラスと出会います。サイラスは首が短いことがなやみでした。サイラスは、エドワードにしかかなえられないあるおねがいをしました。そのおねがいをかなえたエドワードは、今までとはちがう気持ちになったようです。



ものがたり『なんでもふたつさん』

M・Sクラッチ/文 光吉夏弥/訳 K・ビーゼ/絵 大日本図書



なんでもふたつさんはなんでもふたつもっています

表紙の絵のようになんでもふたつさんはなんでもふたつもっています。ぼうしも、シャツも、ズボンも、ネクタイも、かさも、全部ふたつずつないと、気に入りませんでした。そして、仕事もふたつしているし、ごはんも二人前食べるし、同じ家が二けんたっています。

そんな、なんでもふたつさんには、なやみごともふたつありました。ひとつは、おくさんが一人しかいないこと。もうひとつは、子どもも一人しかいないことでした。なんでもふたつさんには、ピーターという男の子がいましたが、ふたごでなかったことをざんねんに思っていました。

さて、このなやみごとはかいけつするのでしょうか？

ものがたり『のはらクラブのこどもたち』のはらクラブシリーズ1巻目

たかどのほうこ/作 理論社 **植物はかせになりましょう**

野原が大すきなのはらおばさんは、子どもたちといっしょにお散歩しようと思いつきました。そして、お散歩中に知っている植物を見つけたら教え合うことにしました。すずめのかたびら、からすのえんどう、ねこじゃらしなど、どれも鳥や動物の名前が入っていますが、なぜこんな名前がついたのかを教えてくださいますよ。

また、草ずもうや、くさぶえなどの植物遊びもしょうかいされているので、同じ植物を見つけたら、遊んでみてくださいね。

そして、どうやら、いっしょにお散歩をしていた子どもたちには、あるひみつがあるようですよ。

この本は春のお話ですが、同じシリーズに夏・秋・冬の本もありますよ。お話を楽しく読めて、さらに植物のことをくわしく知れる本です。

